

観光立国の実現は地方(地域)から

宿泊施設と共に高みを目指す

都内で行われた座談会の様子



世界三大メガOTA 日本法人 トップ座談会

ジェームス・ホワイトモア氏 ブッキング・ドットコム・ジャパン 北アジア地域統括 リージョナル・ディレクター
マイケル・ダイクス氏 エクスペディアホールディングス 代表取締役 ロジックパートナーサービス 日本・マイクロネシア地区統括本部長
梁 穎希(レオ・リャン)氏 シートリップ・ジャパン 代表取締役社長

地方への送客に注力 旅館の団体とも連携

16年とはどのような事業展開を行っていく方針か。2016年という1年や2年では達成できないだろうが、これから3~5年の間にブックイング・ドットコム、エクスペディアを超えるという社内目標を掲げている。当社が、団体客についてもネット上で予約できるように対応している。実際に現在でも上海の日本領事館における団体査証申請数は当社がナンバーワンだ。

民泊も重要な選択肢 法律の整備後に対応

ホワイトモア 16年も訪日旅行は拡大すると予測している。すでに成長している市場に加え、これから成長するであろう市場も狙っていく。注目は、いわゆる「コールドチェーン」以外の地域への送客だ。日本から近距離の韓国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシアなどの市場は、ヘビリーリピーターや日本の文化を理解している人も多いだろうし、これから地方を訪れる機会が増えていくと思う。その中で、LCCの路線が増えた福岡、名古屋、沖縄、札幌などにも拠点を持つ。地方に営業拠点を置くメリットはたくさんある。その地域で採用するスタッフもおり、よりその地域のスタッフが地域の魅力を認識し、ブックイング・ドットコムのサイトを通じて世界にアピールしていく。そこにまた当社のサイトを介して外国からのお客さまが宿泊施設を予約し、訪れる。このような環境を促していきたい。また、地方拠点を増やすことにより、よりそのエリアの施設さまとの緊密な

2000万人は消極的数字 より高い目標目指す

日本政府の掲げる訪日旅行者2000万人の目標は達成できるか。2020年にはどのくらいに達すると予測するか。梁 目標人数に対して日本人の間にはどのような理解があるかわからないが、たとえば14年にフランスのパリを訪れた人は7600万人、ロンドンには3500万人だった。これは国ではなく、一つの都市での数字。こんなに魅力的な東京という都市がパリ、ロンドンに負けてしまうのか、そうではないと思う。日本全国で2千万人というのは低い



前掲としたビジネスを展開してきたが、長期滞在が旅のスタイルである外国人にとって、合わないところがある。また旅館に外国人の食事の多様化の大切さを理解することもある。旅館の持つ良さや魅力を外国人のお客さまのニーズを取り込めるような「中間地点」を見つけている。そのためには、旅館が所属するあらゆる団体とも連携していく必要がある。具体的な営業戦略としては、国内で9地域を選び、世界中のエクスペディアのさまざまな販売チャネルを活用して送客を強化する。例えば、アジアの全域で九州、沖縄、北海道、長野への興味が増えていることは弊社のデータでも明らかになっており、それら地域はもうろ力を注いでいく方針だ。

でロンドンをアピールしてくれた。おかげで五輪前も五輪以降も引き続き多くの旅行者がロンドンを訪れるようになった。東京五輪でも一過性の盛り上がりというよりは、継続的な訪日拡大の大きな機会になることは間違いない。

個人的な話になるが、私は妻が日本人ということもあり、日本を知りたい、日本に多くの人を連れてきたいという思いは強い。「競争が激化する環境下において、新たな脅威や気になる動きはあるか。梁 旅行業界内での大手の

豊かである、など観光大国になる要素が整っているにもかかわらず、実際にはなっていない。日本はフランス、イタリアなどがすでに達成している数字を目指すべきだ。ホワイトモア 2千万人は非常に消極的な数字だと思える。訪日旅行者を増やすためには、日本はもっと自国のことを知ってもらう努力をしなくてはならない。2020年までは2千万人は達成できるだろうが、より高い数字を目指している。日本は安全でおいしい、外国人にもやさしい国。今度はその扉を開くだけだ。客室供給量の課題を考えなければ、すでに非常に高い可能性を秘めていると思う。

水と生きる SUNTORY

サントリーの天然水は、森がおよそ20年以上もかけてうみだす地下水。この貴重な天然水を未来の子どもたちへつなぐために森を元気にしよう、と始めた「天然水の森」プロジェクト。100年先200年先を想うサントリーの大事な仕事です。

現在「天然水の森」は13都府県18箇所、総面積およそ8,000ha。2020年までに「天然水の森」を12,000haに拡大することを目指しています。これは、工場で汲み上げる地下水量の約2倍を育む森の広さです。



サントリー 天然水の森 PROJECT.

「100年も先のことは、わからない」なんて言うのはやめよう。そう決めました。

